

History

会社のあゆみ

あゆみ▶



1930年 8月	太平洋工業合名会社を創立し、自動車用バルブコアの製造を開始	1990年11月	樹脂の専門工場として東大垣工場を新設
1936年 8月	バルブコアの実用新案権を取得	1999年 7月	Pacific Manufacturing Ohio, Inc.を設立(米国)
1938年 8月	太平洋工業株式会社に改組し、航空機および自動車用タイヤバルブ、バルブコア、その他の製品の製造を開始	2000年12月	T PMS送信機の生産開始
1946年 8月	トヨタ自動車工業株式会社の協力工場として、自動車用プレス部品の製造を開始	2002年11月	グローバル生産累計バルブコア100億本、タイヤバルブ50億本達成
1954年 7月	バルブコアで日本工業規格表示許可工場に認定	2004年 9月	太平洋エアコントロール工業株式会社を設立(韓国)
1960年11月	西大垣工場を新設し、プレス事業を拡充	2005年 4月	天津太平洋汽車部件有限公司を設立(中国)
1970年 8月	株式を東京・名古屋証券取引所第一部に上場	2006年12月	九州工場を新設
1972年11月	北大垣工場を新設し、タイヤバルブ事業を拡充	2010年 5月	栗原工場を新設
1977年 9月	タイヤバルブ、バルブコアの専門工場として美濃工場を新設	2011年11月	長沙太平洋半谷汽車部件有限公司を設立(中国)
1982年 9月	プレス用金型の専門工場として養老工場を新設	2012年 5月	Pacific Industries Europe NV/SAを設立(ベルギー)
1984年 6月	太平洋汽門工業股份有限公司を設立(台湾)	2013年11月	若柳工場を新設
1987年 5月	太平洋バルブ工業株式会社を設立(韓国)	2014年 1月	T PMS送信機生産累計1億個達成
1988年 7月	Pacific Industries USA Inc.を設立(米国)	7月	Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.を設立(米国)
1989年 3月	Pacific Industries(Thailand) Co., Ltd.を設立(タイ)	7月	太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司を設立(中国)
		2018年 8月	Schraderバルブ事業を経営統合
		2022年 4月	東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミアム市場へ移行

Sustainability

サステナビリティ▶



太平洋工業グループの サステナビリティ(SDGs)の取り組み

長期ビジョンと関連する4つの柱となるテーマと、15のマテリアリティ(重要課題)、注力するSDGsのゴールを掲げ、太平洋工業グループ全体で、持続可能な社会の実現をめざしています。

4つの柱となるテーマ

- 1.ステークホルダーとの信頼醸成
- 2.製品を通じた社会・顧客課題の解決
- 3.環境負荷の極小化
- 4.人財の尊重と活躍

PACIFIC環境チャレンジ2050

気候変動の緩和および適応

CO₂排出量 ※2019年度比、スコープ1・2

2030年目標	50%削減
2050年目標	ネットゼロ

持続可能な資源の利用

廃棄物排出量 ※2019年度比

2030年目標	30%削減
2050年目標	極小化

※廃棄物データの報告対象範囲修正に伴い、2030年度目標を見直しました。

水資源の保全

水使用量

2030年目標	適正利用
2050年目標	地域事情に応じた利用 極小化

 太平洋工業株式会社

当社のホームページでは、企業情報、IR・投資家情報、サステナビリティ情報などさまざまな情報を掲載しております。

<https://www.pacific-ind.co.jp/>



〒503-8603 岐阜県大垣市久徳町100番地
TEL 0584-91-1111(大代表) FAX 0584-92-1804

太平洋工業株式会社



Company Profile

思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow

Message ごあいさつ



代表取締役社長

小川 哲史

当社は1930年に自動車用バルブコアの国産化に挑み創業しました。

現在の主力事業であるプレス・樹脂製品事業、バルブ製品事業の基盤強化や開発投資に加え、長期的な事業領域拡大を見据え、社会課題や顧客課題を解決する新事業開発にも果敢に挑んでいます。

また、人的資本を重視した取り組みとして、エンゲージメントの向上に努めるとともに、多様性を認め合い尊重し合える職場づくり、従業員が自ら挑戦できる風土への変革を推進しています。

社会から必要とされる存在であり続けるため、ステークホルダーの皆様との信頼を醸成し、太平洋工業グループの世界中の仲間たちと新たな価値づくりを進め、持続可能な社会の実現に貢献する企業をめざします。

Main Products

樹脂製品

フィルム加飾技術や防音防振技術を強みとした、多彩な樹脂製品を製造しています。



Stamping Products

プレス製品

車体の強度・剛性を確保するための車体部品をはじめとした各種プレス製品を製造しています。軽量化と高剛性化を両立させる超ハイテン材の成形技術に力を入れています。



Valve, TPMS Products

バルブ・TPMS製品

複数の世界トップシェアを有するバルブ製品、安全な走行を守り環境に優しいTPMS製品、BEV向け電動膨張弁などを生産しています。



IoT IoT製品

製品とIoT、AI技術の組み合わせで、モノだけでなく、Webやアプリなどを通じ価値あるデータを一貫して提供し、お客様のDX推進、課題解決に貢献しています。



World Wide Network

【ベルギー】●
Pacific Industries Europe NV/SA

【韓国】●
太平洋バルブ工業株式会社
太平洋エアコントロール工業株式会社

【米国】●●
Pacific Industries USA Inc.
Pacific Manufacturing Ohio, Inc.

【米国】●
Schrader-Bridgeport International, Inc.

【米国】●
Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.

【日本】●●●●●
太平洋工業株式会社
ピーアイシステム株式会社
太平洋産業株式会社
PECホールディングス株式会社

【台湾】●●●
太平洋汽門工業股份有限公司

【フランス】●
Schrader SAS

【タイ】●●●
Pacific Industries(Thailand) Co., Ltd.

太平洋工業グループは、海外7ヵ国13社、日本国内4社でグローバル展開しています。

- … プレス・樹脂製品事業
- … バルブ製品事業
- … その他

グローバルネットワーク



国内拠点 中部・九州・東北の3地区で、8工場を展開しています。



本社・西大垣工場

中部地区

- ・本社・西大垣工場 ● (岐阜県大垣市久徳町)
- ・北大垣工場 ● (岐阜県安八郡神戸町)
- ・東大垣工場 ● (岐阜県大垣市)
- ・養老工場 ● (岐阜県養老郡養老町)
- ・美濃工場 ● (岐阜県美濃市)

東北地区

- ・栗原工場 ● (宮城県栗原市)
- ・若柳工場 ● (宮城県栗原市)

九州地区

- ・九州工場 ● (福岡県鞍手郡小竹町)

国内拠点



会社概要

社名	太平洋工業株式会社 Pacific Industrial Co., Ltd.	株上場	東京証券取引所プライム市場
本社所在地	岐阜県大垣市久徳町100番地 TEL 0584-91-1111(大代表)	売上高	名古屋証券取引所プレミアム市場 証券コード 7250
設立	1930年(昭和5年)8月8日	事業内容	自動車部品、電子機器製品等の開発・製造ならびに販売
代表者	代表取締役社長 小川 哲史	社員数	連結:4,760名、単独:1,980名(2022年3月末現在)
資本金	73億1,600万円(2023年3月末現在)		

会社概要



Passion in Creating Tomorrow